

2005年8月30日

私立大学図書館協会西地区部会
京都地区協議会加盟館
図書館（情報センター）長 殿

私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会
2005年度研修大会開催担当校
福井工業大学図書館
館長 大家 寛
(公印省略)

2005年度私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会
研修大会の開催について（ご案内）

謹啓 貴館におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記の研修大会を下記のとおり開催いたしますので、ご多用のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

なお、準備の都合上、添付の参加申込書を、出欠の有無等ご記入のうえ、9月26日（月）までに、FAXまたはEメールによりご送付下さいますようお願いいたします。

謹白

記

1. 日 時 2005年10月21日（金）10:00～16:30
2. 会 場 福井工業大学 FUTタワー15階 多目的会議室
〒910-8505 福井市学園 3-6-1
アクセスマップは、本学のホームページをご参照下さい。
<http://www.fukui-ut.ac.jp/com/14-03.html>
3. テーマ 日本の伝統文化と禅
4. 次 第 別紙「要綱」参照

※ 参加申込みおよび研修大会に関するお問い合わせは、下記へお願いいたします。
特に、公印付き案内状を希望される館は、下記宛までご連絡下さい。

福井工業大学図書館 担当；恩地、大原
住所 〒910-8505 福井市学園・3-6-1
Tel；0776-29-7870（直通） FAX；0776-28-7032
E-mail；tosyokan@fukui-ut.ac.jp

私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会
2005年度研修大会 要綱

日時 ; 2005年10月21日(金) 10:00~16:30
場所 ; 福井工業大学 FUTタワー15階 多目的会議室
 大本山永平寺
テーマ ; 日本の伝統文化と禅

[テーマについて]

図書館は文化の継承と創造に深く関わっているものである。したがって、図書館職員は文化に対する感性と理解力を養う必要があるであろう。

ところで、文化のうち日本の伝統文化は我々日本人にとっては特別なものである。しかし、その伝統文化は我々日本人自身にも今日必ずしも深く理解されているとは言えないであろう。そこで、今回の研修大会では、日本の伝統文化、いわゆる「芸道」を、なるべくその根本から、すなわちそれら諸芸道の根底に存すると考えられる禅仏教から理解していただくということを目指したいと思う。

研修大会日程

9:15 受付
10:00 開会式
 開会の挨拶 福井工業大学図書館長 大家 寛
10:10 講演 ; 「禅画に見る禅文化の精神—国宝「瓢鮎図」の謎—」
 講師 ; 花園大学国際禅学研究所教授(副所長) 芳澤 勝弘 先生

[講演について]

如拙の「瓢鮎図」は、中学や高校の教科書にも載っていて、つとに有名であり、室町水墨画のもっとも初期の作品でもある。禅の公案を描いたもので、禅文化の代表作とされてきたが、近年では、美術史・文化史・民俗学の分野から、伝統的な解釈を否定する意見も出されている。この「瓢鮎図」には、室町時代の禅僧31人による「賛」が付けられている。31人がそれぞれ、この絵に対してコメントをつけているのである。従来、この絵は美術史から関心を集めてきたのだが、その場合、この「賛」の意味はほとんど考慮されることがなかった。絵と賛から、この絵の意味するところが何なのかを考えてみたい。

11:45 バスによる移動(福井工大正門 → 永平寺 約35分)
12:30 昼食(永平寺精進料理)
13:30 法話 ; 「仏教における『三昧』について」
 講師 ; 大本山永平寺 布教部長 遠藤 長悦 老師

[法話について]

日本の芸道は、その本質においては、弓を射る、お茶を点てる、剣で闘う等々に集中する「個々三昧」を越えて、さらにそれら個々のものを貫き越えた「真理=道」に集中しこれを体験するという「王三昧」に至るものであると見ることもできるであろう。

そこで、芸道の本質を成すものでもありと考えられるこれら「三昧」という禅体験について法話をいただく。

14:30 見学 ; 大本山永平寺(修行僧案内による)
15:50 バスによる移動(永平寺~JR福井駅 約30分)
16:30 JR福井駅で解散